



活力ある産業の振興

安定した生活基盤を確保するためには、基幹産業である農業・商工業に活力がなくてはなりません。

農業振興策としては、TPP参加交渉などの動向を注視し、県産フードバレー構想との連携を図りつつ、足腰の強い農業経営を図るために、各種生産組織および町内14の営農組織を中核とした組織型農業を推進するとともに、共同経営を視野に入れた集落営農組織の育成を推進してまいります。

農地集積加速化事業については、昨年の野津地区と併せて、新たに吉野地区をモデル指定して、農地の集積を推進してまいります。

2年目となる、い業機械再生

支援事業については、昨年度の実績と生産部会の要望を踏まえ、一部機械の補助上限額の拡大を行い、い業関連機械の維持管理費を支援することにより、生産機械の長寿命化を図ります。

昨年、取り組みが少なかった保育所等昼表需要拡大事業につきましても、豊の効能などの周知を深め、町内の保育所などへ普及を図ります。

新規就農総合支援事業、くまもと稼げる園芸産地育成対策事業および鳥獣被害防止総合対策事業の国・県事業を積極的に活用し、新規就農者の支援、園芸作物農家の施設整備支援および鳥獣被害の防止を図ります。

水川町農業元気づくり支援事業は、トマトの遮光資材導入対策、酪農業の性別別精液活用推進事業、葉タバコ病害予防対策および露地野菜病害虫対策などの7つの事業を展開します。

また、継続事業として、経営所得安定対策事業、経営体育成支援事業、水川町販売戦略基本計画に基づく農産物販売戦略強化対策、いぐさ豊表生産体制強化緊急対策事業、日本産ブランド輸出促進事業をはじめ、農地の利活用調整、利活用状況調査などの農業委員会の機能充実を支援する農地制度実施円滑化事業に取り組みすることとしています。

農業経営の安定化と農家負担の軽減を目的とした農業収入安定化事業について、共済掛け金の助成率を45%に据え置いたところでございます。

アンテナショップである水川のしずくについては、今後ともコストの削減と売り上げ増を目指して取り組みとともに、水川町のPR活動を積極的に推進し、所期の目的達成に向けて努力してまいります。

水産資源回復基盤整備交付金事業では、アサリ・ハマグリ稚貝の放流および漁場の耕うんならびにナルトビエイの駆除を実施します。

農業基盤整備事業の継続事業を継続して実施してまいります。

ヘアーナ釣り大会、ウォーキング大会など、各種イベントにつきましても参加者を増やす工夫をしつつ開催し、地域経済の活性化を図ります。

安心して暮らせる福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという観点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、検診事業をさらに強化推進します。

40歳・50歳・60歳を対象とし、人間ドック受診費用、40歳から60歳の5歳刻みの方を対象に、乳ガン検診および大腸がん検診と20歳から40歳の5歳刻みの女性を対象とした子宮頸がん検診の無料化については、対象者数を増員して実施いたします。

特定健診事業については、過去5年間の未受診者へ無料クーポン券を配布し、受診率の向上と健康管理の自己啓発を図ります。

少子化および定住促進対策として、継続して医療費の無料化を中学3年生までを対象年



▲いきいきサロン(高野道地区)

齢とし、子育て世代の支援を図ります。

インフルエンザ予防接種についても1歳から15歳を対象に助成を継続して実施します。

また、子育て世代の母親の精神的・身体的負担を軽減するため、産前産後ホームヘルプ事

業を継続して実施してまいります。

子ども・子育て支援事業計画を策定します。

高齢者および障がい者福祉対策といたしましては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、高齢者および障がい者住宅改造成事業の継続事業をはじめ、障害者自動車運転免許取得・車輻改造助成事業および難聴児補聴器購入費助成事業に取り組みすることとしています。

特に、いきいきサロン事業につきましても、町内全地区での実施を目標として積極的に推進してまいります。

平成25年度に見直した水川町国民健康保険財政健全化計画に基づき、国民健康保険事業の円滑な運営に努めてまい



▲住民健診の受診率向上へ

業として、西野津地区排水路改修工事、暗渠排水事業72ha、国営造成施設管理体整備促進事業および農地・水保全管理支払交付金事業などを水川町土地改良区と連携して実施します。

新規事業として、高野道地区および堺丸地区の排水路改修工事、島地区排水路測量設計業務、柿地区ため池改修工事および農道早尾腹巻田線道路改良工事、農道有佐4号線舗装工事ならびに水川大堰改修事業を実施します。

長年の懸案事項であります竜北地区の排水対策につきましては、事業計画策定と受益農家の合意形成を図ってまいります。

地籍調査事業も年度計画に基づき、大野地区の一筆地調査を実施します。



▲昨年10周年を迎えた吉野梨の台湾輸出

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画の見直し作業に取り組んでおりますので、その計画を踏まえ町社会福祉協議会との連携を図り、地域で支える福祉の環境つ

人を育む教育の振興

児童生徒の安全な教育施設整備のための校舎などの耐震補強・改修工事を計画的に実施しておりますが、本年度は、竜北中学校校舎ならびに竜北西部小学校低学年棟の耐震補強・大規模改修工事を施工します。

また、平成27年度施工予定の水川中学校プール改築工事実施設計を策定いたします。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。

特に、要支援児童生徒支援員につきましては、2人増員して10人体制で支援してまいります。

学校給食における地元食材の活用を図るための助成なら

商工業振興策として、新規事業として、まちなかづくり推進事業により、既存のさくらカード会から水川カード会への移行に伴う、ポイントカード機器の新規導入などの支援を行います。

継続事業の住宅リフォーム促進事業については、空き家の解体まで補助枠を拡大することとし、中小建築業者の支援と空き家対策としての地域環境の改善とともに町内商工業の振興を図ります。

ネット通販販路拡大事業、地域資源活用特産品開発・販路拡大事業を販売戦略商工会補助金として位置づけ、経営革新等推進特別事業も取り組み企業数を倍増し、雇用の確保、商工会活動の支援と商工業者の経営革新を支援してまいります。

町単独のプレミアム付き商品券の発行につきましても継続して実施し、町内における購買力の向上を目指してまいります。

企業誘致活動につきましても、県企業立地課と連携を図りながら、その実現に向け、積極的に活動してまいります。

立神峡公園、まちづくり酒屋、竜北公園については、水川ツーリズム事業のひとつの資源として位置づけ、相互に連携をとり

くりを進めてまいります。

さらに、医療費の抑制と疾病予防のために、住民健診の健診率の向上と管理栄養士を活用し、保健予防活動を充実強化してまいります。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するため「水川町子ども・子育て会議」を設置し、水川町子育て支援プランを策定し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指してまいります。

八火図書館ならびに宮原振興局複合施設の整備については、本体工事に着手し、来年4月の供用開始を目指します。

また、株式会社電通の創始者である光永星郎翁の生涯を描いた放送番組を制作し、同氏を顕彰するとともに、新築される八火図書館内に八火コーナーを創設し、映像で紹介してまいります。